

児童議員（民主県政会）

令和2年9月29日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) オンライン学習及びオンライン教育について

オンライン学習や教育については、多くの課題があると思うが、どのように認識し、どう対処していこうとしているのか、また、児童生徒間で教育格差が生まれてしまうことはないのか、併せて教育長の所見を伺う。

(答)

オンライン学習につきましては、インターネットを活用した学習全般を示すものと言われておりますが、この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業に際して、その有効性や必要性が注目されてきたところでございます。

こうした学習を進めるに当たりましては、児童生徒、教員ともに機器の活用についての技術的な不安や不慣れな面があること、また、デジタル機器や通信環境が整っていない御家庭もあることが課題と認識しております。

このため、全県立学校で学習用クラウドサービスを活用した健康観察など、児童生徒と学校が日常的・定期的なやり取りを行うことから始め、課題や動画の配信など、工夫を重ねて取組を進めてまいりました。

また、児童生徒の家庭におけるデジタル機器や通信環境の課題につきましては、一人1台のコンピュータの導入に合わせて拡充した奨学金制度の一層の周知を図るとともに、引き続き、必要な貸出用端末や通信機器を整え、学びの環境に差が出ないように、支援してまいります。